

リハビリテーション学研究科 担当教員からのメッセージ

樋口 由美 (理学療法学領域)

患者や利用者、その家族を支援する医療従事者として、時代の要請に応じた広い知識とネットワークを手にする事は、専門職としての新たなステージへの一歩です。その一歩を、本学地域リハビリテーション学コースと一緒に始めてみませんか。総合大学ならではの、幅広い専門分野の講師陣がお待ちしております。

淵岡 聡 (理学療法学領域)

本コースのeラーニング・コンテンツは、セキュリティ環境を備えた本学の授業支援システムを使用して配信しています。また、受講生のみなさんの高い向上意欲に応えるため、世界中の学術論文を検索・閲覧できる学術情報システムの利用を可能としました。地域リハビリテーション分野のより深い学習にご活用ください。

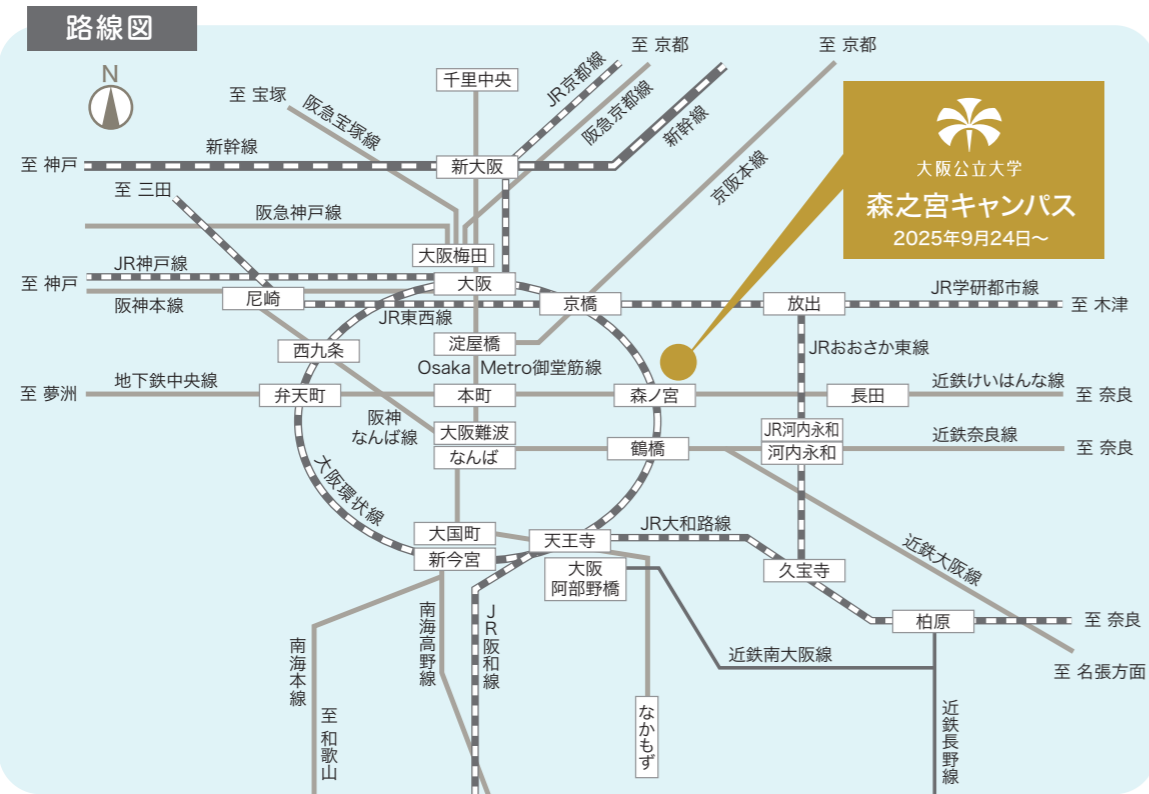
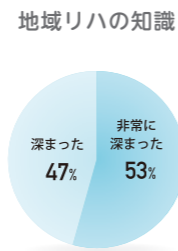
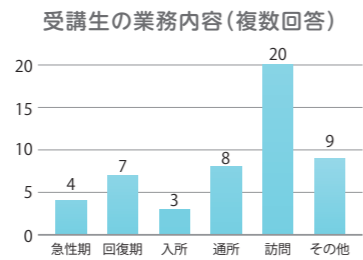
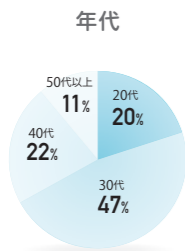
横井 賀津志 (作業療法学領域)

地域リハの実践に必要な知識、技術は日々アップデートされています。高齢者や障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、PT・OTが持つべき知識や実践方法のエッセンスが盛り込まれています。明日からの地域リハの実践に役立つはずですよ。

上田 将也 (作業療法学領域)

地域リハ領域に挑戦したい、地域で活躍したいと思っても、何から学べばいいか、どのように準備をしておけばいいか悩んでいる方は多いのではないのでしょうか。そんな皆さんにとっても、本コースは最適です。豊富な知識、情報だけでなく、全国から集まる受講生との情報交換も、きっと皆様のお役に立つことでしょう。

受講生(第11期生)アンケートより



【お問い合わせ先】

大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科内
「地域リハビリテーション学コース」事務局
gr-reha-cbr@omu.ac.jp

大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 履修証明プログラム
地域リハビリテーション学コース



地域リハビリテーション学コース

地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅医療・介護が推進される中、理学療法士・作業療法士には、医療と介護の連携促進やネットワークの構築ができることが期待されています。本コースでは、卒前教育としての地域理学療法学・地域作業療法学の知識技術を基礎に、公衆衛生的な思考・知識、社会資源の活用、ICTリテラシー等の修得や、地域リハビリテーションを実践するための技術・知識の補完をめざします。これからの地域社会で求められる高い実践能力と指導能力を備えた理学療法士・作業療法士のための社会人コースです。コースの大半はeラーニングで受講することができ、ライフスタイルに合わせてご自身のペースで学習することができます。

コース概要

コース紹介

対象 理学療法士・作業療法士

受講期間 1年間(10月から次年度9月まで)

履修時間 120時間以上
(全体の約9割はeラーニング、スクーリングは3日間に分けて開催)
*eラーニング:主にインターネットを利用した学習形態
*スクーリング:講師と対面して講義を受ける授業形態

募集開始時期 毎年6月頃

定員 40名

受講料 160,000円(半期毎に80,000円ずつ分納)
*受講に関する詳細はHPをご覧ください

一定の条件を満たせば、受講料(教育訓練経費)の50%の給付が受けられます。さらにプログラム修了後に条件を満たす方は、受講料の20%の追加給付(合わせて最大70%給付)が受けられます。なお、令和6年10月以降に受講を開始する場合、上記の追加支給の要件を満たしたうえで、訓練修了後の賃金が受講開始前と比較して5%以上上昇した場合は、受講費用の10%が追加で支給されます。

*受講開始日2週間前までにハローワークにおいて事前手続きをしておく必要があります。
*受給資格の有無等、詳しくは、ご自宅管轄のハローワークに直接お問い合わせください。

教育訓練給付制度を利用できます

講座紹介(全9講座)

医療・保健・福祉をめぐる社会動向

在宅医療・人生の最終段階における医療

地域ケアにおけるICT活用とリテラシー

在宅ケアにおける予後予測

組織マネジメント

訪問リハとリスクマネジメント

社会資源の活用 - 基礎

生活期の疾病理解

社会資源の活用 - 実践



高度専門職人材育成を目的とした社会人向けプログラム

明日の地域リハビリテーションを担う 理学療法士・作業療法士をめざす



受講生の声



波野 優貴さん

「地域」と一言でいっても、「地域」の中でリハビリテーション専門職に関わるフィールドは様々です。本コースでは、「地域」における支援の在り方の根本を学ぶことができます。受講したことで、どのような場所、どのようなサービスに関わっていても、「本人がどう暮らしたいのか」という視点を大事にして、目標に向けた関わりを考えるようになりました。

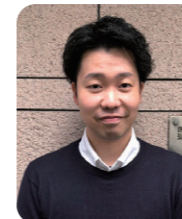
SOMPOケア株式会社：理学療法士



内田 嘉央理さん

学生時代から「地域リハで貢献したい」と志し数十年…。諸先輩方にも相談に乗って頂きながら地域リハに関わってきました。本コースはeラーニングで自分の人脈では出会えない諸先生方の地域への関わりを詳しく学ぶことができ、地域リハの知見を広げる良い機会になりました。また、自分の生活リズムに合わせてプライベートも充実させながら、受講できるのがよかったです。

グッドライフケア訪問看護ステーション大阪：作業療法士



下川 貴大さん

在宅での視点や疾患、リスク管理等、現場に活かせる知識も多くあり、現在の社会動向や地域で活躍されている諸先輩方の話も聞くことができ、今後どのように働いていきたいかの道標にもなりました。加えて、医療の知識だけでなく、組織やマネジメントといった内容も含まれ、ステップアップするための材料にもなり、自分の現在に繋がっています。

医療法人弘済会 四ツ橋診療所：作業療法士



塩見 啓悟さん

受講当時、私は急性期病院に勤めており自宅退院をされる高齢で生活援助が必要な患者さんにどのような退院支援が適切なのかを学びたく本コースを受講しました。eラーニング中心の講義は勤務後に少しだけ聴講したり、休日にたくさん聴講したりと自分の予定に合わせて学ぶことができました。講義毎の課題であるレポートは今でも見返して大変役に立っています。

社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院：理学療法士

卒前から継続した生涯教育

本学では、地域リハビリテーション学において、学士課程から生涯教育に続く体系的な教育システムを構築しています。さらに本コースはキャリア教育との連携を強化し、地域包括ケアシステムにおいて求められる高い実践能力と指導能力を兼ね備えた理学療法士・作業療法士の輩出を目指します。

※日本作業療法士協会による生涯教育制度との接続性を担保しています。

医療施設・地域社会で活躍できる人材

生涯教育

地域リハビリテーション学コース

専門職と地域住民の連携体制づくりを支援する俯瞰的思考と高度な指導能力を培う

学士課程

地域リハビリテーションにおけるリハビリ専門職の役割理解と基礎的な実践能力を備える